

SHARP®

コンペッ

取扱説明書
デスクトップタイプ電卓

形名 CS-D942

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることが
できる場所に必ず保存してください。

税率変更が可能な税計算機能付

設定税率が変更できます。
ご使用前や電池交換時には、税率を
確認したうえでご使用ください。

安全にお使いいただくために

図記号について この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

△注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

- 図記号の意味**
- △ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
 - ❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

△注意

- 電池は誤った使いかたをすると、破れつや発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることもあります。以下のことをお守りください。
 - ・電池のプラス“+”の向きを正しく入れる。
 - ・使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
 - ・水や火の中に入れて、分解しない。
- この製品に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子さまが電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



<もくじ>

◇おねがい	2
◇各部のなまえとスイッチ・キーのはたらき	3
◆カウンターとシンボル表示の見かた	8
◆計算の途中に表示が消えたら(続行機能)	9
◇ラストアンサー機能	10
◇アンサーチェック(照合)のしかた	11
◇税計算のしかた	12
◇日数計算のしかた	15
◇基本計算のしかた	18
◇エラーについて	22
◇電源について	23
◇仕様	25
◇アフターサービスについて	26
◇保証書(保証規定)	27

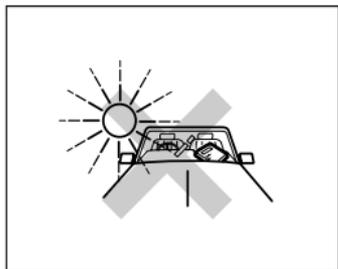
<ご注意>

- この製品を取り出したとき、十分に明るいところであるにもかかわらず、表示が消えている場合は、を押してください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

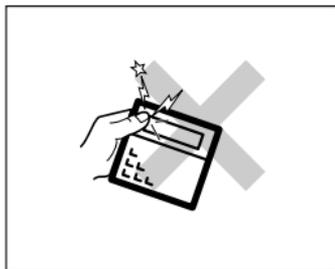
廃棄時の注意事項

- この製品を廃棄する場合は、「電池交換のしかた」にしたがって電池を取り外し、電池と本体に分別してください。
- 製品の廃棄および電池が消耗して取り外した電池は、冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。
- 製品の廃棄および電池が消耗して取り外した電池は、ショートするのを防ぐためプラス“+”とマイナス“-”をゼロハンテープなどで絶縁してください。
- 分別した電池と本体を廃棄する場合は、自治体によって処理、処分のしかたが異なりますので、その指示にしたがってください。

おねがい



日の当たる自動車内・直射日光の当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因になります。



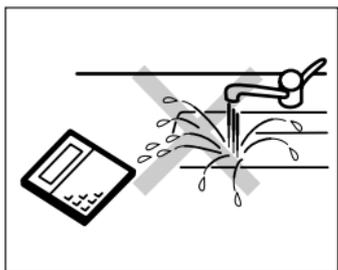
液晶表示部や太陽電池部はガラスでできていますので、強く押さないでください。
割れることがあります。



落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。
大きな力が加わり、壊れることがあります。

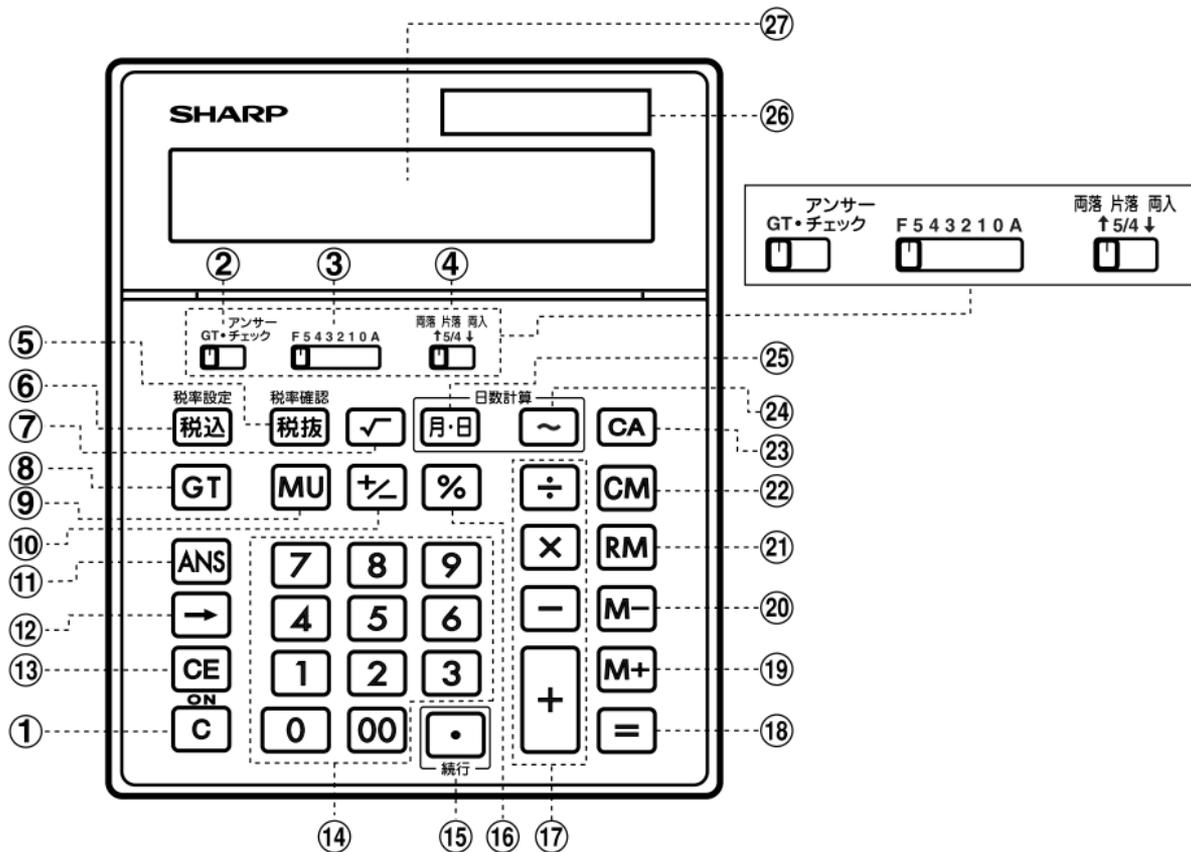


お手入れに揮発性の液体（シンナー、ベンジンなど）や、ぬれた布などは使用しないで、乾いたやわらかい布をご使用ください。
変質したり色が変わったりすることがあります。



この製品は防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

各部のなまえとスイッチ・キーのはたらき



- ①  **電源オン(入)／クリアキー：**
電源を入れるときに押します。また、電卓内部の数値や計算命令をクリアしたり、カウンターのリセット(00にする)や日数計算モードを解除するときにも押します。(設定した税率やメモリー(グランドトータルメモリー含む)、ラストアンサーの内容はクリアされません。)

- ②  **グランドトータル(GT)／アンサーチェックスイッチ：**

GT位置： 小計()、)を押して得られる値がグランドトータル(累計)メモリーに自動的に加算されます。小計の累計を求めるときはこの位置にします。

* 日数計算で求めた月・日はグランドトータルメモリーには加算されません。

● 位置： グランドトータルメモリーやアンサーチェックを使わない計算を行うときはこの位置にします。

アンサーチェック位置： 計算結果を記憶し、次の計算結果と照合して正しいかどうかをチェックするときはこの位置にします。

- ③  **小数部桁数(TAB)指定スイッチ：**

F位置： 小数部の桁数が固定されません。“浮動”になります。

5、4、3、2、1、0位置： 小数部の桁数をそれぞれの桁数に指定します。

A位置： アディングモードを指定します。加減算において、自動的に小数点の位置を置数値の下位から2桁目に指定します。ただし、を使用した場合や加減算以外の計算では、この機能は働きません。

- ④  **ラウンド／両落・片落・両入スイッチ：**
ラウンドスイッチ：

③により指定された小数部桁数の下位1桁目の処理方法を指定します。

(例えば③が3になっている場合、4桁目(小数第4位)が処理されます。)

↑位置： 切り上げ 5/4位置： 四捨五入

↓位置： 切り捨て

* ③がF位置にあるときや、計算の途中結果など、小数部の桁数が固定されない場合の端数も、上記指定にかかわらず切り捨てられます。

両落・片落・両入スイッチ：

日数計算において、“両落”、“片落”、“両入”の指定になります。(15ページ参照)

- ⑤  **税抜計算／税率確認キー：**

● 置数直後などに押せば表示数値を税込額とみなし、税抜額を求めます。もう一度押すと税額が求まります。以降、このキーを押すたびに税抜額と税額を交互に表示します。

- **C** を押した後に押すと税率を確認することができます。

税率設定

⑥ **税込**

税込計算／税率設定キー：

- 置数直後などに押せば表示数値を税抜額とみなし、税込額を求めます。もう一度押すと税額が求まります。以降、このキーを押すたびに税込額と税額を交互に表示します。
- **C** を押した後に押し、置数後再びこのキーを押すと置数値が税率として設定されます。

⑦ **√**

ルートキー：

開平計算を行うときに押します。

⑧ **GT**

グランドトータルキー：

- グランドトータルメモリーの内容を呼び出します。
- 2回続けて押せばグランドトータルメモリーの内容をクリアします。

⑨ **MU**

マークアップキー：

割増・割引計算、売価計算、原価計算、変化率計算を行うときに使用します。

⑩ **+/-**

サインチェンジキー：

表示数値の符号を反転させるときに押します。

⑪ **ANS**

ラストアンサーキー：

ラストアンサーの内容を呼び出します。

⑫ **→**

右シフトキー：

表示数値が1桁ずつ右に移動します。置数値を1桁訂正するとき使用します。また、置数時

のエラーや概算エラーを解除するときにも使用します。(21ページ参照)

⑬ **CE**

クリアエントリーキー：

置数直後やメモリー(グランドトータルメモリー含む)、ラストアンサーの内容を呼び出したときなどに、押せば表示数値がクリアされます。また、置数時のエラーや概算エラーを解除することもできます。(21ページ参照)

⑭ **00**

0 ~ **9** 置数キー：

数値を置数するときに押します。

⑮ **•**

実行

小数点置数／計算続行キー：

- 小数点を置数するときに押します。
- 表示が消えているとき(電源が切れている)とき **ON** **C** や **CA** のかわりに押すと、表示が消える直前の状態を表示し計算を続行できます。

⑯ **%**

パーセントキー：

パーセント計算を行うときに押します。

⑰ **+**

- **×** **÷** 四則計算キー：

四則計算を行うときにそれぞれ押します。これらのキーを押しまちがえた場合は、それぞれを押しかえることにより訂正できます。(21ページ参照)

⑱ **=**

イコールキー：

四則計算などで答えを求めるときに押します。

- ⑱ **M+** メモリープラスキー：
メモリーに加算します。
- ⑳ **M-** メモリーマイナスキー：
メモリーから減算します。
- ㉑ **RM** リコールメモリーキー：
メモリーの内容を呼び出します。
- ㉒ **CM** クリアメモリーキー：
メモリーの内容をクリアします。
- ㉓ **CA** クリアオールキー：
 - メモリー(グラントータルメモリー含む)を含めて、電卓内をすべてクリア(ご破算)します。(設定した税率はクリアされません。)
 - 意味のない数字や記号が表示されているとき、**C**を押しても解除できない場合に押しします。
- ㉔ **~** 期間計算キー：
日数計算で、ある期間の日数を求めるときに使用します。
- ㉕ **月・日** 日数計算キー：
 - 日数計算を行うときには、**C**を押した後に押して日数計算モードにします。
 - 日付(月・日)を入力するときにも使用します。

㉖ 太陽電池部

- ㉗ 液晶表示部
シンボルは、同時にすべてが表示されることはありません。



- 88** : 置数の回数が表示されます。(カウンター：00～99)
- : **+**、**-**、**×**、**÷** および日数計算モードで始まりの月・日を入力して **~** を押したとき表示されます。
 - ◀ : 数値が負のとき表示数値の左側に表示されます。
 - =** : **=**、**%** を押して答えを求めたとき、**M+**、**M-** を押してメモリーの加減算を行ったとき、税率を設定したとき表示されません。
 - OK** : アンサーチェックの値が一致したとき表示されます。
 - M** : メモリーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。

このシンボルは **CM** を押すか、**CA** を押すと消えます。

G : グラントータルメモリーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。
このシンボルは **GT** を2回押すか、**CA** を押すと消えます。

ANS : ラストアンサーに0以外の数値が記憶されているとき表示されます。
このシンボルは **CA** を押すと消えます。

E : エラーが発生したとき表示されます。

日数 : 日数計算モードのとき表示されます。

税率 : 税率を設定するときや呼び出したとき表示されます。

月 **日** :

日数計算モードで月を入力したときや月・日を求めたとき表示されます。日数を求めたときは“日”のみ表示されます。

税 : 税率を設定するときや呼び出したとき表示されます。また、税額を求めたときにも表示されます。

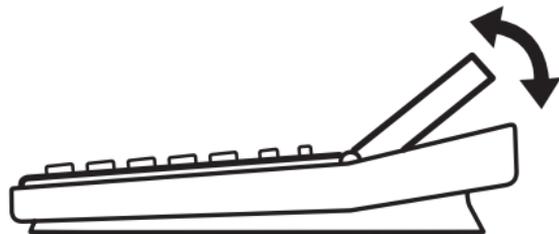
税込 : 税込額を求めたとき表示されます。

税 抜 : 税抜額を求めたとき表示されます。

~ : 日数計算モードで始まりの月・日を入力して **~** を押したとき表示されます。

+ - × ÷ : **+**、**-**、**×**、**÷** を押したとき表示されます。

※ この電卓の表示部にはチルトディスプレイを採用しています。



◆カウンターとシンボル表示の見かた

- 置数した数値の個数をカウンターで表示します。(画面左上)
連続計算を行う場合、何番目の数値を置数したか確認できます。
ただし、四則計算および日数計算を行うときのみ有効です。
- $\boxed{+}$ 、 $\boxed{-}$ 、 $\boxed{\times}$ 、 $\boxed{\div}$ のどれを押したかをシンボルで表示します。計算途中で中断した場合に便利です。

【例】 $23 \times (-2) \div 4 = -11.5$



操 作	表 示
\boxed{C}	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">00</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-right: 10px;">0.</div> <div>カウンター</div> </div>
23	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">01</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-right: 10px;">23.</div> <div>数値を置数するたびにカウンターに1が加えられます。</div> </div>
$\boxed{\times}$	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">01</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-right: 10px;">\times 23.</div> <div>$\boxed{\times}$ を押したことを示します。</div> </div>
2 $\boxed{+/-}$	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">02</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-right: 10px;">\times -2.</div> <div>2つめの数値を置数しました。</div> </div>
$\boxed{\div}$	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">0?</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-right: 10px;">\div -46.</div> <div>$\boxed{\div}$ を押したことを示します。</div> </div>
4 $\boxed{=}$	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">03</div> <div style="margin-right: 10px;">ANS</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-right: 10px;">=</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-right: 10px;">-11.5</div> <div>3つめの数値を置数しました。 計算結果</div> </div>

◆計算の途中に表示が消えたら(続行機能)

この電卓は、約7分間キー操作をしないと、電池保護のため自動的に電源が切れ表示が消えます。使用状態により、数分の長短があります。(自動節電機能(オートパワーオフ機能))

続けて計算するときは：を押します。

- を押すと表示が消える直前の状態に戻り計算を続行できます。
カウンターや四則計算キーのシンボルを表示しているので、どこまで計算したかがわかります。
- ただし、を押した後に を押しても直前の状態には戻りません。

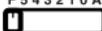
新たに計算するときは：を押します。

ご注意： 設定した税率やメモリー(グランドトータルメモリー含む)、ラストアンサーの内容は保持されています。メモリー(グランドトータルメモリー含む)、ラストアンサーの内容をクリアするときは、を押してください。(設定した税率はクリアされません。)

ラストアンサー機能

この電卓は、 $\boxed{=}$ 、 $\boxed{\%}$ を押して求めた値を記憶する機能があります。この記憶された値をラストアンサーと呼びます。ラストアンサーが記憶されると液晶表示部に“ANS”シンボルが点灯します。

【例】 $1 + 7 = 8$ この8という結果を使って、 $\frac{64 \times 2}{1 + 7}$ の計算をします。

操作	表示
① アンサー GT・チェック  F543210A  C 	00 0.
② 1 $\boxed{+}$ 7	02 7.
③ $\boxed{=}$	02 ANS = 8.

操作	表示
④ 64 $\boxed{\times}$ 2 $\boxed{+}$	02 ANS 128.
⑤ ANS	03 ANS 8.
⑥ $\boxed{=}$	03 ANS = 16.

⑥で $\boxed{=}$ を押したことによって、新しい計算をしたことになりますのでラストアンサーは、8から16になります。

- ご注意：
- ラストアンサー機能は、メモリーにひとつの値を記憶することであり、常に一番新しい値を記憶しています。
 - なお、ラストアンサーは液晶表示部に“ANS”シンボルが点灯しているとき、 $\boxed{\text{ANS}}$ で呼び出すことができます。
 - ラストアンサーは、 $\boxed{\text{CA}}$ を押すとクリアされ“ANS”シンボルも消えます。

アンサーチェック(照合)のしかた

この電卓は、前回の計算結果(=、%で求めた答)と2回目の結果が一致しているかどうかを照合することができます。なお、3回目の結果は、2回目の結果と照合されます。

【例】 $120 \times 3652 + 670 - 258 = 438652$ の計算の照合

操作	表示
アンサー GT・チェック  F543210A  C	00
120 \times	120.
3652 $+$	438240.
670 $-$	438910.
258 $=$	ANS 438652.

操作	表示
C	00 ANS 0.
120 \times 3652 $+$ 670 $-$	03 ANS 438910.
258 $=$	04 OK ANS = 438652.

- ①～⑤ 前回の計算
- ⑥～⑧ 2回目の計算

前回の計算結果と一致したとき表示
(不一致のときは表示しません。)

- ご注意：
- CA を押すと、前回の計算結果がクリアされ照合はできません。
 - カウンターの照合や、メモリー計算の値・計算過程での照合はできません。
 - 日数計算にも使用できます。

税計算のしかた

税計算の専用キーを **税込**、**税抜** を使って、税込額、税抜額、税額を求めることができます。

- 税計算を行うときには、まず税率の設定／確認をします。

税率の設定

- 税率は、4桁の範囲で設定(または変更)できます。(小数点は1桁と数えません。)

【例】 税率を5%に設定する。

操 作	表 示
C	00 0.
税率設定 税込 5 税率設定 税込	00 税率 税 = 5.

ご注意： 設定した税率は、変更するまで記憶されています。ただし、電池の消耗(23ページ参照)などで設定した税率が変化することがあります。

税率の確認

【例】 税率の確認する。(税率：5%)

操 作	表 示
C	00 0.
税率確認 税抜	00 税率 税 5.

税込計算

【例】 800円の税込額、税額を求める。(税率：5%)

操 作	表 示
アンサー GT・チェック   F543210A	01
 800	800.
	01 税込 840.
	01 税 40.

以降、 を押すたびに税込額と税額を交互に表示します。

税抜計算

【例】 税込表示額が840円の商品と525円の商品の合計額、税抜額、税額を求める。(税率：5%)

操 作	表 示
アンサー GT・チェック F 5 4 3 2 1 0 A C 840 + 525 =	02 ANS = 1365.
税抜	01 ANS 税 抜 1300.
税抜	01 ANS 税 65.

以降、**税抜** を押すたびに税抜額と税額を交互に表示します。

日数計算のしかた

日数計算(初日：ある期間の始まる日付、期日：ある期間の終わる日付)

期間計算：初日と期日から、その期間の日数を調べることができます。

期日計算：指定した日付(初日)から、期間日数後の日付(期日)を調べることができます。

- 1年以内(両落：364日、片落：365日、両入：366日)・・・期間/期日計算
- 同日から同日を指定すると、翌年までの日数を計算します。・・・期間計算
例：4月1日～4月1日(片落) → 365日
- 0日前(後)の計算はできません。また、両入では1日前(後)の計算もできません。・・・期日計算
- 入力あるいは計算で求めた月・日のメモリー計算はできません。・・・期間/期日計算
- うるう年(2月29日を日数に含む)の計算はできません。・・・期間/期日計算
- 最初の入力月日を、定数として計算することができます。・・・期間/期日計算

両落、片落、両入の意味

両落：始まりの日も終わりの日も日数として数えません。(両端落し)

片落：始まりの日か、終わりの日のどちらかを日数として数えません。(片落し)

両入：始まりの日も終わりの日も日数として数えます。(両端入れ)

期間計算

ある期間の日数を調べるには(期間計算)

【例】 10月21日から12月24日までの日数は？(片落し)

操 作	表 示
アンサー GT・チェック  両落 片落 両入 ↑5/4↓  [C] [月・日]	日数 0
10 [月・日] 21 [~]	日数 月 日 0.1 10 21
12 [月・日] 24	日数 月 日 0.2 12 24
[=]	ANS 日数 日 0.2 64

期日計算

ある日付から期間日数後の日付を調べるには(期日計算)

【例】 3月27日から50日後の日付は？(両端入れ)

操 作	表 示
アンサー GT・チェック  両落 片落 両入 ↑5/4↓  [C] [月・日]	日数 0
3 [月・日] 27 [+]	日数 月 日 0.1 3 27
50	日数 0.2 50
[=]	ANS 日数 月 日 0.2 5 15

* 何日前の日付を調べるには、日付を入力した後 [+] のかわりに [-] を押します。

ご注意： • 入力をまちがえたときは、[CE] を押してもう一度入力してください。

- [C] を押すまで、日数計算を続けて行うことができます。
- 期日計算では、[X] (または [+]) を押しても無効です。

◆うるう年の日数計算

この電卓は、うるう年(2月29日を日数に含む)の計算はできません。2月29日は日付として入力できません。うるう年の計算をする場合は、次のようにしてください。

種 類		求 め か た
1	2月29日をはさんだ期間の計算	計算で求めた日数に1日加えます。
2	2月29日をはさんだ期日の計算	何日後 計算で求めた期日の前日です。
3		何日前 計算で求めた期日の翌日です。
4	初日が2月29日の日数計算	2月29日のかわりに2月28日を入力します。
5	期日が2月29日の日数計算	2月29日のかわりに3月1日を入力します。

【例】 2月25日～3月9日までの日数は？(片落し)

計算結果：12日

上表の1にあてはまり、1日加えた13日となります。

【例】 2月25日から50日後は？(両端入れ)

計算結果：4月15日

上表の2にあてはまり、前日の4月14日となります。

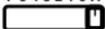
基本計算のしかた

- 計算を始める前に **C** を押して、電卓内部の数値や計算命令をクリアしてください。
- 特に指定していないスイッチの位置は、どこにあってもさしつかえありません。
- 実際には“●”、“=”、“ANS”、“**+ - × ÷**”のシンボルやカウンターが表示されますが、この計算例の表示では記載を省略しています。

計算例	操作	表示
	アンサー GT・チェック  C	0.
$(-24+2) \div 4 = -5.5$	[-] 24 + 2 ÷ 4 =	-5.5
$13 \times (-4) \div 2 = -26$	13 × 4 ← + 2 =	-26.
$34 + \underline{57} = 91$ $45 + \underline{57} = 102$	34 + 57 = 加数 <u>+57</u> が 45 = 定数となります。	91. 102.
$38 - \underline{26} = 12$ $35 - \underline{26} = 9$	38 - 26 = 減数 <u>-26</u> が 35 = 定数となります。	12. 9.
$68 \times 25 = 1700$ $68 \times 40 = 2720$	68 × 25 = 被乗数 <u>68</u> × が 40 = 定数となります。	1' 700. 2' 720.

計 算 例	操 作	表 示
$35 \div 14 = 2.5$ $98 \div 14 = 7$	$35 \div 14 =$ 除数 $\div 14$ が $98 =$ 定数となります。	 2.5 7.
$200 \times 10\% = 20$	$200 \times 10 \%$	20.
$(9 \div 36) \times 100 = 25$	$9 \div 36 \%$	25.
$200 + (200 \times 10\%) = 220$	$200 + 10 \%$	220.
$4^6 = (4^3)^2 = 4096$	$4 \times = \times =$	4' 096.
$\frac{1870}{1 - 15/100} = 2200$	$1870 \div 15 \text{ MU}$	2' 200.
$\frac{4500}{1 + 20/100} = 3750$	$4500 \div 20 \text{ +/- MU}$	3' 750.
$\sqrt{25 - 9} = 4$	$25 - 9 = \sqrt{\quad}$	4.
$1/8 = 0.125$	$8 \div =$	0.125

計 算 例	操 作	表 示
$25 \times 5 = 125$ $\text{一) } 84 \div 3 = 28$ $\text{+)} 68 + 17 = 85$ <hr style="width: 20%; margin-left: 0;"/> 182	<p>CM ← 計算の前にメモリーをクリアします。</p> $25 \times 5 \text{ M+}$ • M+, M- は = のはた $84 \div 3 \text{ M-}$ らきもかねています。 $68 + 17 \text{ M+}$ <p>RM</p> <p>CM</p>	<p>M 125.</p> <p>M 28.</p> <p>M 85.</p> <p>M 182.</p> <p> 182.</p>
$23.5 + 42.3 = 65.8$ $72.4 - 37.321 + 12 = 47.08 (47.079^*)$ $\text{+)} 27 - 19 - 21.61 = -13.61$ <hr style="width: 30%; margin-left: 0;"/> 99.27 <p>*小数第3位を四捨五入します。</p>	<p>アンサー GT・チェック</p> <p>F 5 4 3 2 1 0 A</p> <p>両落 片落 両入 ↑5/4 ↓</p> <p>GT GT ← 計算の前にグラントータル メモリーをクリアします。</p> $23.5 + 42.3 =$ $72.4 - 37.321 + 12 =$ $27 - 19 - 21.61 =$ <p>GT</p> <p>GT</p>	<p>G 65.80</p> <p>G 47.08</p> <p>G -13.61</p> <p>G 99.27</p> <p> 99.27</p>

計算例	操作	表示
$\$1.45$ (1ドル45セント) $\$45.00$ (45ドル) $-\$7.63$ (7ドル63セント) <hr/> (計) $\$38.82$ (38ドル82セント)	アンサー GT・チェック   F543210A  145  4500  763 	1.45 46.45 38.82

入力訂正のしかた アンサー GT・チェック F543210A

誤	正	訂正操作	表示
$2 + \underline{3}$	$2 + \underline{4} = 6$	2  3  (または ) 4 	$6.$
$5 \times \underline{2}$	$5 \div \underline{2} = 2.5$	5   2 	2.5
$1234\underline{56}$	$1234\underline{78}$	123456   78	$123' 478.$

エラーについて

次の場合はエラーとなり、“E”シンボルを表示します。このときは [C] でエラーを解除してください。(③、⑥および⑧の場合は [CE] または [←] でも解除できます。)

- ① 負数の平方根を求めたとき 例：5 [√] [✓]
- ② 除数が0の除算を行ったとき 例：5 [÷] 0 [=]
- ③ 整数部を13桁以上入力したとき
- ④ メモリーまたはグランドトータルメモリーの数値の整数部が12桁を超えたとき
(エラー解除後、メモリー内部の数値をクリアしたいときは [CM]、グランドトータルメモリーは [GT] を2回押します。)
- ⑤ 期日計算の範囲が1年(両落：364日、片落：365日、両入：366日)を超えたとき
- ⑥ 日数計算モードで誤った日付、日数を入力したとき
- ⑦ 税計算で求めた計算の結果あるいは途中結果の整数部が12桁を超えたとき

⑧ 計算結果の整数部が13～24桁になったとき：概算

例： 987654320988 [÷]
0.444 [×] → 2.22444666889^E
エラー解除 [CE] → 2.22444666889
555 [=] → =1'234.56790123
↑
兆の位(概数1234兆5679億123万)

ご注意： 計算結果の整数部が25桁になった場合、概算はできません。

電源について

この電卓は“リチウム電池”と光を電気に変える“太陽電池”の2つの電源方式(ツインパワー)を採用しています。この2つの電源方式により、通常は太陽電池で動作し、使用中に光がささげられても、リチウム電池により計算内容などを保護します。

電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- ・ 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより電卓を傷めることがあります。
- ・ 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電池交換の時期

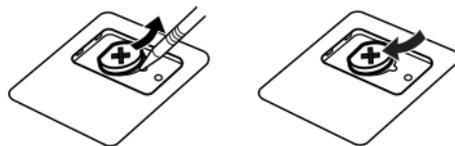
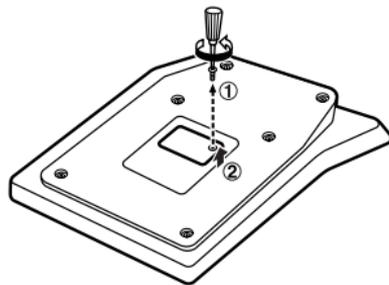
暗い場所で使用しているとき、次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- ・ 正面から見た表示が薄くて見にくい。
- ・ 自動節電機能(オートパワーオフ機能)が働いて表示が消えているとき、、 または  を押しても何も表示しない。

電池交換のしかた

使用する電池はリチウム電池(CR2032) 1個です。

ご注意： 電池交換をすると、設定していた税率やメモリーの内容が変化・消失する場合があります。また、電源を切る直前の状態もクリアされますので、 を押しても電源を切る直前の計算は続行できなくなります。



電池を交換したら

- ・ **C**^{ON} **CA** と押し、液晶表示部に“0.”が表示されることを確認してください。もし、“0.”が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度表示を確認してください。（光が太陽電池部に当たらないようにさえぎった状態で確認してください。）
- ・ **C**^{税率確認} **税抜** と押しして税率を確認してください。もし、税率が変化・消失している場合は、再度設定し直してください。（12ページ参照）

仕 様

形 名	CS-D942
表 示	液晶
計 算 桁 数(概算)	12桁 (13桁~24桁)
計 算 機 能	加減乗除、定数計算、メモリー計算、パーセント計算、べき乗計算、逆数計算、税計算、日数計算、アンサーチェックなど
電 源	太陽電池(本体に組み込み) 3.0V $\cdot\cdot\cdot$ (DC):リチウム電池(CR2032) 1個(本体内蔵)
リチウム電池 使用 時間	約7年(内蔵リチウム電池のみで1日当 たり1時間使用した場合) ・ 使用環境や使用方法により変動し ます。
自動節電機能	約7分

使用温度	0℃~40℃
外形寸法	幅152mm×奥行215mm×厚さ 44mm
質 量	約450g (電池含む)
付 属 品	リチウム電池1個(本体内蔵)、取扱説 明書、お客様ご相談窓口のご案内

アフターサービスについて

◆保証について

1. この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついていません。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から5年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

◆補修用性能部品の保有期間

- 当社は電卓の補修用性能部品を製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

◆修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、ご購入の販売店にこの製品を「**お持込み**」のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。
2. アフターサービスについてわからないことは…
ご購入の販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

◆お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申し付けください。付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただきますをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。

お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。
なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。
 2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合
 - (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
- (二) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。

(ホ) 火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。

(ヘ) 電池の液もれによる故障・損傷。

(ト) 消耗品（リチウム電池）が損耗し取り替えを要する場合。

(チ) 持込修理の対象製品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげ

の販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理メモ

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋(メールパック：文具店などでお求めいただけます)などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

●製品についてのお問い合わせは・

お客様相談センター



0120-303-909

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室

TEL 043-351-1822

FAX 043-299-8280

西日本相談室

TEL 06-6792-1583

FAX 06-6792-5993

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

●修理のご相談は・

製品に同梱の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

●シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町 492